

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（営業担当）	・金利も上がり、雇用も拡大している中で、日本人プレーヤーが増えた大リーグ開幕など明るい話題が多くなってきているので、期待出来る。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・消費者の財布のひもは固いが、大河ドラマの影響と観光キャンペーンの好影響を期待している。
		百貨店（売場主任）	・春物の動きが早くなり、シーズンも長くなる。これからどんどんいろいろなことを提案できる状況だとすれば、初夏物、夏物と良い流れでいく。
		スーパー（販売促進担当）	・今月は、衣料品、住居商品、食品の全部門がほぼ前年をクリアしている。近隣の新築マンションの入居が始まり、食品の伸びが期待できるため、このまま衣料品、住居商品が前年をクリアできれば若干上向く。
		スーパー（統括）	・ここに来て客単価が下げ止まっている。食品主体に見ると購買時の迷い感が薄れているようで、価格さえ合えば購入してもらえる確率が高いので、販売していても楽しい。
		コンビニ（店長）	・町の西を通るバイパスがオープンしてから1年が経過するし、近隣の本屋が2月一杯で廃業したので少しは客が増加する。
		衣料品専門店（経営者）	・店舗前の道路関連工事が今月一杯で終了したことや、この3か月セーター、ブラウスを中心に販売数が2けたの伸びを示していることから、景気改善ムードと併せて良くなることを期待している。
		衣料品専門店（統括）	・今年は暖冬で冬物の動きが非常に悪く、郊外大型ショッピングセンターとの価格の差があるために販売が非常ににくい状況にある。これから春夏に掛けては、大型店と競合しない商品の販売があるので、期待している。
		住関連専門店（仕入担当）	・季節商材の立ち上がりが早くなるとそのカテゴリーの期中の売上高が大きくなり、波及効果が期待できるためである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・近隣にまもなく廃業する同業他社があり、宴会及び会合の獲得増に好影響があると期待している。
		旅行代理店（支店長）	・2～3か月後は春の旅行シーズンに入る。今はちょうど4月以降の商品への切り替え時期で、客も決めかねているが、これから具体的なパンフレットが出るので、予約数も伸びていく。
	タクシー（経営者）	・昼間の動きも夜の動きも多少増加の兆しがみえるので良くなる。	
	遊園地（職員）	・暖かい季節になり、客の動きが活発になる。隣接にオープンした温泉施設との相乗効果も期待できる。	
	ゴルフ場（従業員）	・月ぎめなどのメンバー会員の数が増えてきている。そういう点を含めると、やや良くなる。	
	住宅販売会社（従業員）	・金利の先高感が改めて取り上げられるようになり、住宅は今が買い時であるという意識が客に浸透することを期待している。	
	変わらない	百貨店（営業担当）	・客の買物をみていると以前のようにまとめてたくさん買うようなことはあまりなく、非常に慎重に買物をしている。
スーパー（総務担当）		・現在の客の動向から、さほど大きく増えたり減ったりということは見受けられないのと、天候に非常に左右されるので、この2～3か月は同じような状況が続く。	
スーパー（統括）		・婦人のチュニックタイプのワンピースが活発に動くなど、春物の出だしは好調である。移動新生活マーケット、入園入学などのモチベーションも好調に推移しており、現状の消費マインドを維持できるとみている。	
乗用車販売店（従業員）		・新型車効果に加え、新卒者需要にも期待しているが、先日の大型イベントの結果からして新車の成約台数、売上高、粗利共に上向くとは思えない。	
乗用車販売店（営業担当）		・折込チラシを入れても、集客率の上昇が望めなくなってしまう。	
乗用車販売店（営業担当）		・以前に出始めていた新車、中古車の商談がスムーズに契約となるケースが増えてきているが、新しい商談の数が少ない。	

	乗用車販売店（販売担当）	・一時は宣伝をすればそれなりに売れたが、今は宣伝をしてもあまり高い車は売れない。周辺地域のホテル関係の整理がまだ終わっておらず、個人商店主の車の乗り換えに対する意欲も全く感じられない。一般サラリーマンには少しずつ売れているが、ホテル関係や商店街が良くならない限り、景気は上向きにならない。
	一般レストラン（経営者）	・飲酒代行運転に対するサービス対策を行っているが、客の意識が今までどおりになるにはまだ時間が掛かりそうである。
	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊のネット予約状況はほぼ前年並みの20数パーセントで、宴会関係においても、前年のリピート、常連客だけに押さえられているので、新規客を獲得しないと進展していかない。
	旅行代理店（副支店長）	・暖冬、雪不足等先行きは暗い。地元建設業者も除雪収入が全くない状況であり、建設、土木関係の会社が多いため、先行きが心配である。個人、団体の受注も減少する見込みである。
	観光名所（職員）	・企業では好況感が広がっているが、個人については収入の増加もあまりなく、購買欲増加には結び付かない。
	ゴルフ場（従業員）	・例年行われるコンペは同様に予約が入っているものの、新規が少ない。
	ゴルフ場（支配人）	・順調に春の予約数は伸びているが、相変わらず値引き交渉が続いており、ゴルファーの地域性の違いを体感している。
	競輪場（職員）	・他の公営競技、同種の他場の販売額等にそれほど変化がみられないからである。
	設計事務所（所長）	・新年度になっても、すぐには仕事の発注がなく、個人の物件はどの程度出てくるか見当が付かない。この辺りの景気は低迷したままのようであり、2～3か月先も悪いままで変わらない。
	住宅販売会社（経営者）	・デフレ現象がいまだに進んでいるようで、家賃にしろ、土地にしろ、必ず値下げ交渉から入るような状況下である。今後ともこういう状況が続くと、景気は良くならない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・大型店の郊外への出店話もあり、心配の種はつきない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・必要に迫られての購入が見受けられるので、客の購買意欲を出させるのは難しい。安かろう悪かろうが分かっているも、その場しのぎで安価な製品を購入している。家電においては、高価な製品1台より安価な製品2台をとったことはないで、利益率は下がる一方である。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・毎日の商いがあまりぱっとしないので、これから良くなる気がしない。まだ先の話であるが、また数百メートル以内に3千平米のスーパー誘説という働きかけが行政で動いており、売上が下向きになる要因である。
	百貨店（販売促進担当）	・近郊のショッピングセンター進出による影響は徐々に薄まりつつあるが、隣の市にまた大きなショッピングセンターが3月にオープンするため、そちらへ客が流れるなど影響を受け、売上が低迷する。
	衣料品専門店（店長）	・空き店舗が目立っている中心市街地の商店街に対するイメージは依然としてあまり良くない。努力はしているが、新規の客が固定客としてなかなか定着しないために、今後もあまり良くない状況が続く見込みである。
	衣料品専門店（販売担当）	・このまま暖冬傾向が続けば春物の時期があつという間にとんでしまい、いつの間にか半袖になっている。本当に薄手の物でもかなり苦戦するような気がしている。何か良い要素があればよいが、残念ながら見当たらない。
	家電量販店（店長）	・必要性が高い商品が開発されないことには、購買動機を突き動かすに至らない。
	一般レストラン（業務担当）	・3月の卒業謝恩会予約は件数、人数、料理単価、いずれも前年を下回っている。4～5月の年度替わりに伴う各種団体の総会、宴会需要も、総会のみで宴会はしないという団体が増えており、前年に比べ売上は大幅に減少する見込みである。4月の統一地方選の影響もあるかもしれない。
	スナック（経営者）	・良くなりそうな要素がない。花見シーズンが歓迎迎会シーズンに重なってきそうなのも心配である。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）
	悪くなる	
企業	良くなる	-

動向 関連	やや良くなる	化学工業（経営者）	・今期の注文分の生産がずれ込んできそうなので、4月一杯は忙しそうである。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末の記念品及び、節句関連商品、例年の特注品受注を見込んでいる。更に、新製品の発売に伴う受注量の増加も見込まれる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新規製品の受注は引き続き増加しており、12月ごろより受注した製品の数量も次第に多くなりつつある。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・建設機械関連の仕事が引き続き好調であり、航空機用部品及び四輪駆動車用部品の新規産産が軌道に乗り、売上高が増加すると見込んでいる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・先月、今月と行われた新卒学生向けのガイダンスには、前年の倍近い企業が参加したが、参加した学生は前年を下回っている。学生の話では首都圏で決まっている者が多いということである。また、一昨年閉店した大型店の跡に、来月複合店がオープンするが、店ごとにオープンをずらしており、集客の持続性も維持できるとみている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・客の投資意欲もおう盛であり、引き合い、見込案件も多く、収益の改善が図られる。
変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・当社の仕事量は増えているが、たまたま3年前に中国へ移管した仕事品質の面でクリアできず、また今月から当社に戻ってきたもので、全般的に景気が良くなったためではない。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・とりあえず今後2～3か月は今やりきれないほど大変多くの仕事が入っているので、しばらくはこの良い状況が続く。	
	金融業（経営企画担当）	・企業の受注等は徐々に安定感が出てきているが、好調な企業、業種は自動車関連、プラスチック加工等の一部に限定されている。全体的にみて地方はまだ力強さに欠けている。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・3～4月に掛けて一段と生産調整が行われる見込みである。良いところと悪いところの格差が一段と進んでいる。見積等もあるが、コスト的に非常に厳しく、受注までも厳しい状態である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・どの要素をとってみても当社としてはこれから上り調子ということはなく、うまくいって横滑りである。特に、自動車関連で大手メーカーの部品を作っているが、現在売行き不振のためか激減しており、経営に大きくマイナスである。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・3か月先は前年比で3～5%程度受注量が減少する見込みである。原材料についてもコスト転嫁がされないままであるので、収益的に見ても悪い状況の見通しである。	
	不動産業（管理担当）	・現在は新規入居テナントの打診が幾つかあるものの、入居が決まっていないので賃貸収入は現状維持の見込みである。また、4月以降のビル全体の管理料金値下げ圧力が非常に強く、収益が減少する見込みは高い。	
	広告代理店（営業担当）	・3月末決算以降の販促予定に伸びが見られない。最近になってショップなどの閉店も増えており、地方都市は相変わらず元気がない状況である。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・利益率の高いタイムコマーシャルについては、電機、自動車産業等の中長期の契約が横ばい状況にあるが、官公庁からの受注は予算削減に伴い3%程度減少する見込みである。スポットコマーシャルは商業、サービス業、不動産業を中心に下げ止まり傾向にある。イベント受注は大型スーパーの閉店の影響からか、商店街並びに大型店を中心に減少する見込みである。	
悪くなる	建設業（総務担当）	・公共事業削減で、受注を確保するのが難しい状況が続く。民間工事の受注確保を目指しているが、新規参入で成果を確保するのはこれまた難しい状況である。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・住宅関連資材の関係で製造加工の請負をしているが、2月末から生産関係は結構活発である。自動車関連等についても製造の流れは非常に良い。不安材料もあるが、雇用形態は新卒者が割合的にもかなり良い数字で採用見込み、採用決定というところまでできているので、幾分上向きとみている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・3月に近隣の遊園地の跡地に大型スーパーが出店し、雇用が発生する。10月にはまた別の場所に大型スーパーが出店、近くに映画館なども出来る。当地区の雇用も活性化しており、以前に比べて少しずつ良くなっている。

	職業安定所（職員）	・大手からの求人はないが、関連会社、派遣や下請の零細企業からの求人が出ている。また、あらゆる業種の小、零細企業からも求人が出ている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・学校に対する求人や合同ガイダンス等への参加企業数も例年より多く、積極的に採用活動をしようという姿勢がうかがえる。また、早期には専門職、その後、営業職や事務職を採用するような流れで活動しようとする企業も目立つ。ただし、採用基準は緩めないという姿勢は継続しており、活動する学生にとっては選択肢が増えたとはいえ、楽観視は出来ない状況が続いている。
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	・景気回復は業種にもよるが、周辺一般企業はまだ厳しいなかで、中小企業では正社員としての受け入れは少ない状況である。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率自体も同じようなレベルで安定しているため、あまり変わらない。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-